

## 第6回北海道みなとオアシス活性化協議会

北海道開発局港湾空港部 港湾計画課 島谷 奈緒美

平成27年10月7日(水)、「第6回北海道みなとオアシス活性化協議会」を(一社)寒地港湾技術研究センター会議室で開催しました。



中島港湾計画課長から開会の挨拶

今回の協議会は、同日開催された(一社)寒地港湾技術研究センター主催「港湾におけるイベントと地域活性化に関する検討会」に続いて開催し、前段の同検討会では、室蘭工業大学の片石准教授と同センターが平成25年から3年にわたり実施した自主研究「港湾におけるイベントと地域活性化に関する研究」の報告や、同研究を通じて明らかになったみなとオアシスの運営に関わる課題等について意見交換が行われたほか、「みなとオアシスりしりとう・おしどまり」では、鴛泊港フェリーターミナルの完成を機に、運営団体の若手メンバーが中心となり、フェリーターミナルの向かいにある鴛泊緑地公園にて、港を中心にまちを盛り上げるイベント「みなとピアガーデン」を昨年からは開催している等、今後の運営を担う若手メンバーの発想から生まれた独自の取組についても紹介がありました。



協議会の様子

続く本協議会では、先月開催された「第6回Sea級グルメ全国大会 in 宮古」の報告や全国のみなとオアシスの取組事例に関する情報共有のほか、もんべつの竹内代表からは「みなとオアシスもんべつ」エリア内に新たにオープンした「アザラシシーパラダイス」について、「みなとオアシス函館」の折谷代表からは、「みなとまちづくり女性ネットワーク函館」が作成した、

函館のSea級グルメ「いかめし」のレシピを漫画で紹介する「いかめしブック」について紹介があり、北海道みなとオアシスを益々盛り上げる新たな取組について情報共有することができました。



「キャンディキャンディ」作者のいがらしゆみこ先生が描いた函館の「いかめしブック」

意見交換では、クルーズ客のおもてなしを通じた地域振興やSea級グルメの地元普及等、幅広いテーマで活発な意見交換が繰り広げられ、また、みなとオアシスのさらなるPRに向けて、事務局がイベント時に使用するPRグッズ(のぼり等)を作成し、各オアシスに無料でレンタルすることができないか等、これまでに無い新たなアイデアも提案されました。このほかにも、「みなとオアシス室蘭」が「道の駅みたら」に、みなとオアシスの看板を設置し、海外大型クルーズ船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」の初入港日に、歓迎の意を込めて除幕式を同日開催した等、今後の活動のヒントになる事例やご意見を多く頂戴し大変有意義な会議になりました。



「みなとオアシス室蘭」の看板除幕式

今後も引き続き、各みなとオアシス運営団体のメンバーの皆様と協力しながら、北海道みなとオアシスのPRを図って参ります。